



## 真剣に打ち込むこと

昔から、「一月往ぬる、二月逃げる、三月去る」とよく言われます。ついこの間、箱根駅伝を見たような気がするのに、もう今日から3月です。3年生の登校日は、今日を含めて、あと9日。その間に公立高校の入試もありますから、学年全部が登校するのは、残り7日しかありません。今回は、主に3年生に向けて書かせてもらいます。でも、1、2年生にも分かってほしいことなので、よく読んでください。

先日、あるテレビ番組で、直木賞作家の伊集院静氏が、インタビューに答えて次のようなことを話されていました。コロナ禍で苦しむ若者へのメッセージです。

「コロナっていうのは、風でいうと向かい風みたいなもの。だけど私は、若い人に『道を選ぶなら、向かい風になる道を選びなさい。』と言いたい。苦勞をすれば、苦勞をしている人たちが見えるから。それからもう一つ、苦勞をするということはどういうことかが、自分で分かるから。」

また、こんな言葉もあります。

「若い時の苦勞は、買ってでもせよ。」

これは、「若い時にする苦勞は貴重な経験となるから、自ら進んで、面倒だったり大変だったりすると思われる選択をしましょう。」ということだと思います。「えっ？」と思う人もいるかもしれません。「苦勞なんて、進んでほしいと思う人なんかいないのでは？」と思うのも、もっともかもしれません。でも、考えてみてください。何の苦勞もなく、順風満帆な人生を送る人なんて、ほんの一握りではないでしょうか。真剣に何かに打ち込めば打ち込むほど、苦勞はつきもの。壁にぶち当たる人の方が多いのではないのでしょうか。だからこそ、そこから逃げずに立ち向かえということだと思います。

また、先の伊集院氏が言うメッセージの中には、苦勞をすることによって、人としての成長が望めるといふ思いが含まれていると思います。苦勞している人が見える目を養うことができ、そのことが人への思いやりや円満な人間関係づくりにつながる。そして、苦勞に対する考え方が変わり、生き方がよりよくなることにつながる。そんなメッセージだと思います。

一生懸命になることをためらわず、真剣に物事に打ち込むこと、そして、そのことを通して人として成長し、よりよい人生を送ることを願っています。

## 卒業式についてのお知らせとお願い

3月11日(金)は、第72回卒業証書授与式です。本来であれば、大勢の人で3年生の門出を祝いたいのですが、新型コロナウイルス感染拡大防止から、卒業生、保護者、教職員、一部の来賓による式典とさせていただきます。ご理解とご協力をお願いします。なお、各学年については、次のとおりです。

<3年生> 2月22日にお配りしたご案内のとおり、8時30分から8時45分までの間に、親子一緒に登校し、体育館前で受付をしてください。この時、正門からは入れません。その後、3年生は教室へ、保護者の方は希望が丘体育館へお入りください。なお、保護者の方の入場完了は9時10分です。式後の流れについては、3年団からの指導のとおりです。3年生は、服装や頭髪をきちんと整え、まわりの方への感謝の気持ちを胸に、一生で一度の中学校の卒業式を厳粛なものにしてください。

<1、2年生> 感染拡大防止の観点から、2年生は教室でオンラインにより式の様子を視聴します。教室から3年生の門出を祝うとともに、少しでも卒業式の様子を感じ取り、1年後の自分たちの式に生かしてください。登校時間等は、2年団からの指導のとおりです。

1年生はこの日は登校せず、自宅学習とします。休みではありませんから、出歩いたりせず、自宅で与えられた課題に取り組んでください。